

4 令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①幅広い進路希望に対応できるように教育課程の継続的見直しを行う。</p> <p>②進路実現の基盤として、自らの学習を管理して主体的・対話的で深い学びを実践する力を育成する。</p> <p>③探究的な学びを通じて課題発見力・解決力の向上、自己肯定感の高揚、社会を生き抜く力の育成伸長を図る。</p>	<p>①多様な進路実現に向け、将来を見据え、体系的に科目選択ができるような履修指導を組織的に行い、進路指導に接続させる。</p> <p>②進路の実現に向け自らの学習に継続して取り組み、主体的・対話的で深い学びを育む授業づくりを推進することで、授業改善へとつなげる。</p> <p>③探究的な学びを通して、課題発見力・解決力の向上が図れているかを「生徒による授業評価」の内容を工夫する。</p>	<p>①多様な進路実現に向けて主体的な科目選択ができるよう、履修指導の在り方についての共通理解をもって指導を進め、組織的な履修指導を行う。</p> <p>②スケジュール帳等を活用し、自らの学習を管理し、学習意欲・知的好奇心の向上に向けた取組を推進する。</p> <p>③主体的・対話的で深い学びを実現するために普段の授業改善に取り組み、「生徒による授業評価」の実施方法を工夫する。</p>	<p>①幅広い選択科目の中で進路の実現に向けた履修指導を実施することができたか。また、講座数や時間割の調整を通じて生徒の主体的な進路選択を保障することができたか。</p> <p>②進路の実現に向け、スケジュール管理を推進し、生徒一人ひとりが「自己調整学習」への理解を深めることができたか。</p> <p>③探究的な学びを通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現できているか「生徒による授業評価」により認識させることができたか。</p>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①一貫した生徒指導に加え、すべての教職員が高い支援意識を持ち多様な特性を理解し確かな支援につなげる体制を構築する。</p> <p>②学校行事、部活動等への主体的な取組を促し、豊かで活力ある学校生活を創出する。</p> <p>③グローバルな視野と高い人権意識を身に付け、多文化共生社会の実現に貢献できる人材を育成する。</p>	<p>①全職員が生徒支援意識を持ち、SCやSSW、教育相談コーディネーター、養護教諭との連携を密にして個別支援の充実・向上を図る。</p> <p>②生徒が中心となり、他者と協力して諸活動を創造できるように支援する。</p> <p>③生徒同士が互いの文化を理解し思考の多様性に気付くことができる教育の場面をつくる。</p>	<p>①基本的な生活習慣の確立、情報リテラシー及びモラルの向上を図る。</p> <p>②すべての教職員が高い支援意識を持ち学校生活のあらゆる場面で生徒の発信を逃さない強固な支援体制を構築する。</p> <p>②長期的視点に立ち計画的に生徒の主体的活動を支援する。</p> <p>③「知る・つながる・創る」という多文化共生の理念を具体化する。</p>	<p>①昨年度と比較し、病気や通院以外の遅刻や欠席数が減少したか。</p> <p>②教職員同士で生徒の変化等を察知・情報共有をし、必要に応じてSCやSSWに繋ぐ等、適切な支援ができたか。</p> <p>②部活動等の機会に、生徒が中心となり、他者と協力して諸活動を創造できるように支援することができたか。</p> <p>③LHR等を活用し、各年次にあわせた多文化共生推進教育プログラムを展開することができたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>①「キャリアⅠⅡⅢ」での一貫したキャリア教育を推進し、校内外での多様な学びと体験を通じて自分の在り方・生き方に対する自覚を深めさせる。</p> <p>②「課題研究」での探究活動を充実させ、計画性を持って課題に取り組み、自らの興味・関心を追究することで進路実現・自己実現を目指す。</p>	<p>①②基礎学力の向上を図りつつ、多様な学びを生かした指導に学校全体で取り組む。</p> <p>②課題研究のテーマ設定を大切に、調べ学習に留まらない課題研究の取組をより充実したものにする。</p> <p>②自分の適正に合った最適な進路先や受験方法を選択する力をつけさせるための指導体制を充実させる。</p>	<p>①「キャリアⅠⅡⅢ」での各種取組が継続性・発展性を持つよう系統的なキャリア教育を計画・実践する。</p> <p>①キャリアパスポートで自分自身を振り返る。</p> <p>②探究の手法を理解し、テーマに対する自らの仮説を他者に対して根拠を持って論理的に説明できる力を身に付けさせる指導を実践する。</p> <p>②生徒の視野を広げるための説明会や講演会を外部機関も積極的に活用しながら実施する。</p>	<p>①②③3年間を一貫するキャリア教育プログラムを検討できたか。</p> <p>①③自分自身の視野を広げたり、振り返ったりする機会を多く設定することができたか。</p> <p>②探究の時間においては、他者との意見交換や対話の場を設けるなど、テーマや探究内容を深化させるためのアプローチができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①インターンシップ等への参加を促し、地域社会が持つ教育力を積極活用してキャリア形成意識の向上を図る。</p> <p>②地域との交流を推進し、地域の課題に目を向け、その解決を図ろうとすることで、豊かな人間性や社会性の涵養を図る。</p>	<p>①組織的なボランティア活動や地域貢献に努め、地域に対する感謝の意識を育む。また、地域への情報発信や地域からの情報収集を積極的に行い、連携を強化する。</p> <p>②防災教育や防災研修、防災訓練を継続的に行うことで学校全体の防災意識を高める。</p>	<p>①総合学科の特性を生かして、生徒が主体的・計画的に地域活動に参加できる体制を構築する。</p> <p>①多様な活動を保障するため他校種や行政機関との連携を強化する。</p> <p>②地域の防災活動や美化活動への主体的参加を促す。</p>	<p>①②インターンシップや学校外での学修に参加する生徒が増えたか。その結果、参加した生徒の地域社会の課題等を自らの課題ととらえる意識が高まったか。</p> <p>②校内での防災教育および防災研修を継続的に行うことができたか。学校全体の防災意識を高めることができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①業務の抜本的見直し、ICT化等の業務改善に組織的に取り組み、生徒と向き合う時間の拡充を図る。</p> <p>②ハラスメントのない職場づくりを実現し、職場の心理的安全性を高め、教職員のワークライフバランスを推進する。</p>	<p>①②授業教室の環境を整備し、さらにデジタル化を進めるとともに、計画的に機器や器具刷新を図る。</p> <p>①②より学習活動に効果的な端末やアプリなどを利用し、情報共有を図り、会議などの校務の効率化を図る。</p>	<p>①②各種取組の目標や成果を検証し、業務の抜本的な見直しを行う。</p> <p>①ICT利活用の促進業務分担の見直し等を行い、効率的で多様な働き方に対応する学校運営を目指す。</p> <p>②職員間のコミュニケーションを促進し、安心安全な職場環境を構築する。</p>	<p>①②全ての授業教室において、ICT環境を改善するために、状況調査を踏まえ、機器や器具の刷新をすることができたか。</p> <p>①②ICT利活用を促進するための研修等を行うことができたか。</p> <p>①②グループ内やグループ間での業務を見直し、効率的で多様な働き方を推進することができたか。</p>